

特別展 | 生誕270年

長谷川

長谷川



奇想の旅、
天才絵師の全貌



NAGASAWA ROSETSU

The Legendary Edo Master of Eccentric Painting

山猿の群
1770年



報道資料

大阪中之島美術館に 天才絵師現る！



伊藤若冲、曾我蕭白と共に「奇想の画家」のひとりとして
近年国内外から注目を集める長沢芦雪（1754〜1799）に焦点をあて、
芦雪の画業を紹介する、大阪で初となる回顧展です。

芦雪は江戸時代中期に京都で活躍した画家で、写生画の祖、円山応挙の高弟です。
卓越した描写力に加えて、奇抜な着想と大胆な構図、
また人を驚かせ楽しませようというサービス精神や面白みで、
独自の世界を展開し人気を博しました。

型破りな印象で語られることが多い芦雪ですが、小動物など
小さきものを描いた数々の作品からは、それらへの慈愛に満ちた眼差しが感じられます。
絵を描くことが好きで、常に新しい表現や技法を追求し、精力的に活動した芦雪。
多くの傑作は200年以上経った今も、観る人を魅了してやみません。

本展では、代表作に初公開作品も含め、
初期から晩年までの選りすぐりの優品を一堂に展覧し、
奇想の天才絵師 長沢芦雪の魅力に迫ります。



長沢 芦雪 略歴



長沢芦風
《長沢芦雪像》(部分)
千葉市美術館

和暦(西暦)

年齢(数え年)

事項

宝暦四年(一七五四)

一

丹波国篠山藩(兵庫県)藩士の子として生まれ、京の南に位置する淀で育つ。芦雪の名は政勝、魚、字は氷計、引裾。

十代

最初、「干絹」という名前で絵を描く。その後、写生をもとにした絵で人気を博していた円山応挙(一七三三―一七九五)に入門。

二十代前半

「芦雪」という画号を使い始める。

* 応挙の技法を忠実に受け継いだ作品を制作する一方で、早い時期から独自の作風を模索。一門のなかで頭角を現す。

当時の文化人の名鑑である『平安人物志』画家の部に「応挙らとともに名を連ねる。住所は「御幸町御池下ル」。

三十代前半

掛け軸や小型の屏風作品等を描きながら実力を付けていく。この頃から「魚」印を使い始める。

天明六年(一七八六)

三十三

応挙の代理で赴いた現在の和歌山県南部の禅宗寺院にて襖絵を描く。これまで描いたことがない大画面に挑戦し、無量寺の《龍・虎図襖》など、奔放な筆遣いに大胆な構図の作品を完成させる。十月頃から六カ月ほど南紀に滞在。

* ダイナミックな構図に斬新なクローズアップなど奇抜な着想に、ユーモアや愛らしさ溢れる作品で、人々を楽しませる。

この頃奈良へ行く。

御所の障壁画制作。

寛政元年(一七八九)

三十六

「魚」印の右上欠損。

寛政二年(一七九〇)

三十七

この頃広島に滞在。

寛政五年(一七九三)

四十

寛政六年(一七九四)

四十一

寛政七年(一七九五)

四十二

兵庫・大乘寺で揮毫。

寛政十年(一七九九)

四十六

六月八日、大坂で客死。

* 《方寸五百羅漢図》などの独創的な作品を数多く創作。



大阪初の 芦雪展へざ!



第2章より飛び出す!
《虎図襖》(部分)重要文化財 無量寺・申本応挙芦雪館

第1章

円山応挙 に学ぶ

長沢芦雪(1754-1819)は、丹波国篠山藩の藩士で後に没落し出仕した武士の子として生まれました。絵師になるため姓を長沢に変え、当時画壇をリードしていた円山応挙(1733-1795)に入門します。20代後半からは「芦雪」と署名する作品が多くなっていき、徐々に屏風など大画面の制作依頼も受けるようになりました。本亭では、10代半ばから「子細」という号で描いた初期の作品や、応挙画風を踏襲した女性像や動物画など、自らの画風を模索する時期の作品を展示します。



《西王母図》個人蔵



応挙の教えが
こまやかに宿る、
麗しや



《牡丹孔雀図》下御堂神社



《梅花双狗図》個人蔵

第2章

紀南での揮毫

天明6年(1786)10月頃から翌年2月にかけて、芦雪は師の代理で紀南地方(現在の和歌山県南部)に赴き、木州最南端の町・串本町にある無量寺をはじめとする寺院の襖絵を描きます。温暖な気候も手伝ってか、それまでとは異なる大胆な筆遣いによって多くの作品を描きました。本亭では紀南へ赴く直前に描いた《龍図襖》(鳥根、西光寺)や滞在中に制作した代表作《龍・虎図襖》(和歌山・無量寺)をはじめ、多くの大画面作品をご覧いただきます。



《龍図襖》(昇龍図)松江市指定文化財 西光寺



《寒山拾得図》和歌山県指定文化財 高山寺

黒目がどろり
一筆書きの迫力



《蛸図》個人蔵

新発見
作品!



ゾロンゾロ
小さな命にエール、
ありがとう



《菟図》個人蔵

第3章

より新しく、 より自由に

紀南滞居後の芦雪は、大火で消失した御所の襖絵制作への参加などで活躍すると共に、奈良や広島へ赴き、現地で制作を行っています。応挙の画風を継承しようとする弟子たちの中で、芦雪だけが師匠の画風の再解釈・変容によって、独自の画風の確立に努力を惜しみませんでした。本亭では、大胆な構図・斬新なクロスアップ、どこかユーモラスで愛嬌のある動物や人物の描写など、人々を魅了し楽しませた芦雪40代、唯無二の作品をお楽しみいただけます。



《降雲狗児図》公益財団法人阪急文化財団 逸翁美術館



酔った
勢いて
描く



《人物図》個人蔵



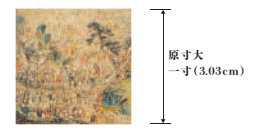
《岩浪群鳥図襖》奈良市指定文化財 薬師寺



《雷土越鶴図》個人蔵

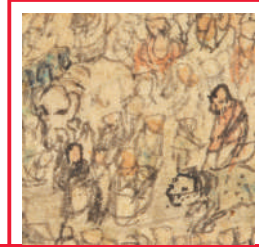


《幽魂の図》奈良県立美術館



《方寸五百羅漢図》個人蔵

原寸大
一寸(3.03cm)



3cm四方に500人の羅漢!
芦雪の小宇宙に極まる

第4章

同時代の 天才画家たち

芦雪が生きた18世紀の京都は、師の円山応挙以外にも数多くの個性豊かな画家たちが輩出しました。後年、奇想の画家として脚光を浴びた伊藤若冲(1716-1800)と曾我蕭白(1730-1806)は、芦雪よりも前代前に生まれた画家です。芦雪は彼らの作品とシクロするような作品や沖宗と好まれた画題を多く描いています。本亭では、応挙に若冲と蕭白の作品も展示し、18世紀京都画壇における画家たちの魅力をご紹介します。



伊藤若冲《象と鯨図屏風》MIHO MUSEUM

生年	没年
1716	1800
伊藤若冲 正徳6年～寛政12年	
1730	1781
曾我蕭白 享保15年～天明元年	
1733	1795
円山応挙 享保18年～寛政7年	
1754	1799
長沢芦雪 宝暦4年～寛政11年	

見どころ
01

長沢芦雪、
大阪初の回顧展！

国内にある芦雪の代表作から今回新たに見つかった作品まで、重要文化財4件を含む約100件を一室に。
*大幅な展示替えがあります。

見どころ
02

芦雪が得意とした
障壁画(襖絵)
8作品を展示

西光寺(鳥根)、無量寺(和歌山)、高山寺(和歌山)、薬師寺(奈良)、大乘寺(兵庫)の襖絵が揃って出品されるのは23年ぶり！

見どころ
03

愛しき動物がいつぱい

大人も子供もワクワク・キュンキュン。生き生きとした動きに会話が聞こえてきそうな、芦雪ならではの動物の描写は必見。

見どころ
04

芦雪作品を
大画面で紹介

卓越した技法や繊細な筆遣いに注目します。
(制作協力 DNPアートコミュニケーションズ)

特別展 生誕270年 長沢芦雪 - 奇想の旅、天才絵師の全貌 -

会期中
展示替え
があります

会期 = 2023年10月7日(土)~12月3日(日)
会場 = 大阪中之島美術館 4階展示室

開場時間 = 10:00-17:00 [入場は16:30まで]

休館日 = 月曜日 [10月9日(月・祝)除く]、10月10日(火)

主催 = 大阪中之島美術館、MBSテレビ、毎日新聞社

協賛 = DNP大日本印刷 協力 = ヤマト運輸

●観覧料	一般	高大生	小中生
当日	1,800円	1,100円	500円
前売/団体	1,600円	900円	300円

*税込価格。団体は20名以上 *障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は当日料金の半額(要証明)。ご来場当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。*本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。
*前売券は2023年7月7日~10月6日販売

展覧会公式サイト | <https://nakka-art.jp/exhibition-post/rosetsu-2023/>

巡回情報【福岡会場】

九州国立博物館 2024年2月6日(火)~3月31日(日)

*大阪会場と福岡会場では出品作品が一部異なります。

報道に関するお問い合わせ

「特別展 生誕270年 長沢芦雪」広報事務局(共同PR内)
担当: 三井

E-mail. rosetsu-2023-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL. 03-6264-2382 / FAX. 0120-653-545

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

大阪中之島美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1

展覧会に関する問い合わせ=TEL. 06-4301-7285
大阪市総合コールセンター 年中無休 受付時間8:00~21:00



| 表面作品 |

右上:《岩浪群鳥図襖》(部分) 奈良市指定文化財 薬師寺
右下:《虎図襖》(部分) 重要文化財 無量寺・串本応挙芦雪館
中上:《牛図》(部分) 鎌倉 鐵齋堂
中下:《群猿図襖》(部分) 重要文化財 大乘寺
左上:《梅花双狗図》(部分) 個人蔵
左下:《龍図襖》(部分) 重要文化財 無量寺・串本応挙芦雪館

| 裏面作品 |

《仔犬図屏風》(部分) 江戸千家 川上宗雪氏蔵

*作家名の記載がない作品は、全て長沢芦雪筆



E-mail:rosetsu-2023-pr@kyodo-pr.co.jp
 「特別展 生誕270年 長沢芦雪 一奇想の旅、天才絵師の全貌」 広報事務局行(担当:三井)

「特別展 生誕270年 長沢芦雪 一奇想の旅、天才絵師の全貌」 2023年10月7日(土)～12月3日(日) 大阪中之島美術館
 【広報作品画像データ申請書】(6月1日版)

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの申込ができない場合は、FAXでご連絡ください(FAX:0120-653-545)

<画像使用全般に関する注意>

- 展覧会名、会期、会場などの開催概要のほか、作家名、作品名(部分表記含む)、指定表記、制作年/制作年代、所蔵元、展示期間を必ず掲載してください。
 ※展示期間は現状、「半期展示」としてあります。確定しましたら、ご案内させていただきます。
- 会期中、展示替えがございます。展示期間終了後の発売・放送・公開は画像使用をお断りさせていただきます。
- 作品画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- WEBにて掲載の場合には、あらかじめ所定キャプションの透かし文字を入れた画像をご用意しておりますので、こちらをご使用ください。
- 概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	作家名・作品名・指定	制作年/制作年代	所蔵元	展示期間
	1	長沢芦雪 《西王母図》	天明2年(1782)	個人蔵	半期展示
	2	長沢芦雪 《梅花双狗図》	江戸時代・18世紀	個人蔵	半期展示
	3	長沢芦雪 《龍図襖》(昇龍図) 松江市指定文化財	天明6年(1786)以前	島根 西光寺	11月7日～12月3日
	4	長沢芦雪 《龍図襖》重要文化財	天明6年(1786)	和歌山 無量寺・串本応挙芦雪館	10月7日～11月5日
	5	長沢芦雪 《虎図襖》重要文化財	天明6年(1786)	和歌山 無量寺・串本応挙芦雪館	10月7日～11月5日
	6	長沢芦雪 《蛸図》	天明6-7年(1786-87)	個人蔵	半期展示
	7	長沢芦雪 《寒山拾得図》和歌山県指定文化財	天明7年(1787)	和歌山 高山寺	半期展示
	8	長沢芦雪 《降雪狗児図》	天明年間(1781-89)	公益財団法人阪急文化財団 逸翁美術館	半期展示
	9	長沢芦雪 《仔犬図屏風》	江戸時代・18世紀	江戸千家 川上宗雪氏蔵	半期展示
	10	長沢芦雪 《牛図》	寛政年間(1789-1800)前期	鐵齋堂	11月7日～12月3日
	11	長沢芦雪 《岩浪群鳥図襖》奈良市指定文化財	寛政年間(1789-1800)前期	奈良 薬師寺	半期展示
	12	長沢芦雪 《幽魂の図》	寛政年間(1789-1800)後期	奈良県立美術館	半期展示
	13	長沢芦雪 《富士越鶴図》	寛政6年(1794)	個人蔵	半期展示
	14	長沢芦雪 《群猿図襖》(部分) 重要文化財	寛政7年(1795)	兵庫 大乘寺	11月7日～12月3日
	15	伊藤若冲 《象と鯨図屏風》	寛政9年(1797)	MIHO MUSEUM	11月7日～12月3日
	16	「特別展 生誕270年 長沢芦雪」ポスタービジュアル			

ご住所	〒				
社名/媒体名	社名	媒体名			
ご所属/ご担当者名	ご所属			ご担当者名	
TEL/FAX	TEL	FAX			
E-mail					
掲載号/発売予定日	月号(月 日号) /	月	日発売予定 (発行部数	部)	<input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
チケットプレゼント	<input type="checkbox"/> 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。				
チケット送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。				

「特別展 生誕 270 年 長沢芦雪 一奇想の旅、天才絵師の全貌―」【広報作品画像】



①



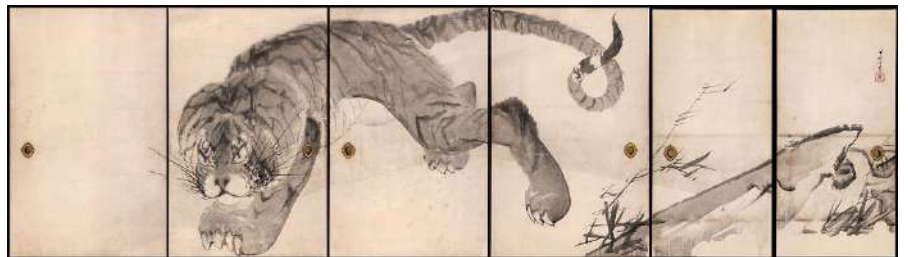
②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑩



⑨



⑪



⑫



⑬



⑮(上)右隻
(下)左隻



⑭



⑯